

相生市立図書館

# 図書館ゆうびん YA向け

2024年 新春号



〒678-0053 兵庫県相生市那波南本町11番1号  
TEL 0791-23-5151

あけましておめでとうございます！今年も相生市立図書館をよろしくお願ひします。  
この「図書館ゆうびん YA向け」では中高生のみなさまへのおすすり本や図書館の  
便利な使い方などを発信しています。

兵庫県立大付属中学校より、トライやる・ウィークに来てくれました。

がんばり  
ました！



11月8日(水)～11月10日(金)の3日間、図書館の  
仕事を体験してもらいました。カウンターでの貸出・返却  
だけでなく、資料の整備、本の配達準備、行事のお手伝  
いなど、裏方の仕事も手伝ってもらいました。トライやる  
さんが作ってくれた本の紹介(「ポップ」といいます)も  
館内に飾っていますよ～☆

## 受験生応援プロジェクト 始まります！



期間中は会議室も  
自習スペースとして開放します！

相生市立図書館は受験に向けてがんばる市立生を応援しています。

**受験生 応援プロジェクト!** 期間 令和6年1月13日(土)～3月2日(日)

期間中は201会議室を学習利用に開放します  
(※11 会議室は受験生専用とします。なおイベント 開催時の利用は別途ご案内いたします。)

- 合格祈願鉛筆プレゼント!  
相生市立図書館 Instagram フォロ  
うしてくれた方先着60名様
- ドウ糖タブレット無料配付!  
糖分切れになったら頼ってね  
カウンターでお渡ししています  
(1人1日1個まで)
- ブランケット無料貸出!  
(ひざ掛け)  
寒さ対策に使ってくださいね  
カウンターでお貸します
- ことわざおみくじBOX  
前向きになれることわざ引いてみよう!  
たまに違う内容のおみくじも入っていますか?

【お問合せ】相生市立図書館 相生市那波南本町11-1 ☎ 0791-23-5151



図書館ホームページでチェック!

受験生優先で使えます!

暖かくて眺めも good!



# Interview with a teacher !

今回インタビューにお答えしてもらったのは、那波中学校の瀬川先生です。

担当教科は音楽、吹奏楽部の顧問をされています。



## Q1 どんな中学生・高校生でしたか？

A1 小学校に上がる前、テレビで見たドリフターズの加藤茶さんのドラム演奏に衝撃を受け、ドラマーになりたい！と思いました。中学校で吹奏楽部に入学し、念願のドラムを担当しました。高校では掛け持ちで軽音楽部にも入り、バンドも組んでいました。吹奏楽部ではいつも女子に囲まれていたので、女友達がたくさんいました。



## Q2 高校卒業後の進路について教えてください。

A2 中学校の吹奏楽部の顧問の先生に影響され、プロの演奏家より、生徒と音楽を奏でることに憧れました。音楽についてより専門的に学び、教員の資格を取るため、岡山の作陽大学（現 くらしき作陽大学）の音楽学部に入學し、打楽器を専攻しました。

## Q3 いつ先生になると決めましたか？

A3 高校まではドラムの演奏に自信を持っていましたが、大学に入學した途端、周りがみんな経験豊富なエリートで、誰もが自分より上手いと感じてしまい、劣等感を抱きました。その頃バイクにもハマっていたので、卒業したらバイク屋に就職しようか、と考えることもありましたが、しかし、教育実習で音楽の授業や吹奏楽部の指導を体験し、音楽への情熱が再燃し、やっぱり教員になりたい！と強く思いました。人生の中で特に感受性が豊かな中学校の3年間にかかわれる素晴らしい仕事だと思います。

## Q4 当時好きだった本はありますか？

A4 愛読書は音楽やバンド、バイクの専門書や雑誌でした。『バンドジャーナル』、『Player』、『パイパーズ』、『club man』などなど。今でも当時の雑誌を保存しています。

## Q5 先生になってよかったですか？

A5 はい。音楽を続けていると多くの人たちと長く繋がれると思います。演奏会で卒業生と再会し、成長に驚かされることもあります。すべての学びや経験が奏でる音楽につながり、人を成長させるのだと思います。また教える立場になっても、音楽は「生もの」だから勉強し続けなければなりません。クラシックや懐メロもいいけれど、今の音楽も聴きます。BTS、Snow Man、Mrs. GREEN APPLE…。生徒にすすめられたら一通り聴きます。世代を超えて楽しめるのも音楽の魅力ですね。

瀬川先生、素敵なお話をありがとうございました！



# タイムマシンが発明されたら…



『タイムマシンって実現できる?』二間瀬 敏史//監修 誠文堂新光社 42



もしも過去や未来に自由に行けるとしたら一。

人類が長年夢見てきた究極の乗り物、タイムマシン。これまで世界の名だたる科学者たちがタイムマシンに関わる理論に魅了されてきました。この本では、<sup>みりょう</sup>相対性理論や<sup>りょうしろん</sup>量子論、<sup>こうじげん じくう</sup>高次元時空など最新の物理学や宇宙論を交えて、タイムマシンの可能性について解説しています。果たして時間旅行は実現できるのでしょうか?

## 過去に行く?

『クジラが歩いていたころ』ドゥーガル ディクソン//作 ハンナ ベイラー//絵

橋本 あゆみ//訳 化学同人 45

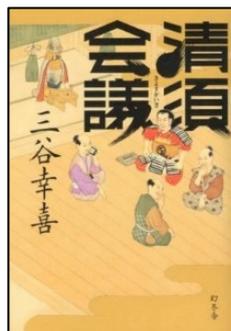
むかーしむかし。人類が誕生するもっと前。ワニが<sup>こうおん</sup>恒温動物だった頃、足のあるヘビが穴掘りをしていた頃。そんな頃が地球にあったなんて…! 生命が海から陸にはい上がった瞬間、わたしたち<sup>れいちょうるい</sup>霊長類の祖先が木から地上におりた瞬間を想像してみましょう。この地球の歴史は、すばらしい物語にあふれ、進化はおどろきに満ちています。



『平安女子の楽しい!生活』川村 裕子//著 岩波書店 91

流行に<sup>びんかん</sup>敏感でおしゃれや占いに夢中。進路や好きな人へ送るメッセージに悩み、集まれば恋の話ばかり…。千年前の平安女子たちも、現代の女の子と同じようなことを楽しみ、悩んで生きていた。美人の条件は美しい髪、イケメンの条件は美文字、結婚式で初めて相手の顔を見る (!) など、衝撃の平安あるある。<sup>むらさきしきぶ</sup>紫式部や<sup>せいしょうなごん</sup>清少納言が生きた、雅な時代へタイムスリップ!

『清須会議』三谷 幸喜//著 幻冬舎 F-ミ



安土桃山時代の「<sup>きよす かいぎ</sup>清須会議」は日本史上初といわれる「話し合い」で平和的に後継者や領地の分配を決めた会議。天下統一を目指す織田信長が配下の明智光秀に討たれた(本能寺の変)わずか数日後。織田の家臣、<sup>しばた かついえ</sup>柴田勝家、<sup>いけだ つねおき</sup>池田恒興、<sup>はしば ひでよし</sup>羽柴秀吉、<sup>にわ ながひで</sup>丹羽長秀の4人の武将が膝を突き合わせ行く末を5日間もかけて話し合ったのだ。それぞれが<sup>おもわく</sup>思惑をめぐらせる、緊張感あふれる会議の様子を、三谷幸喜が現代語訳でユーモアたっぷりに書き上げた傑作。

# 未来に行く？

『たったひとつの冴えたやりかた』 ジェイムズ ティプトリー ジュニア//著  
浅倉 久志//訳 早川書房 933-㊦



16歳の誕生日に小型宇宙船<sup>スペース・クレーブ</sup>をプレゼントしてもらったコーティー。憧れの銀河へ旅立った。宇宙間の移動は時間がかかるため、目的地に到着するまで肉体は冷凍睡眠するのだが、彼女が目覚めた時、頭の中にはイーアという未知のエイリアンが住み着いていた。驚いたのもつかの間、ふたりは意気投合し、冒険にのりだす。しかしこの脳寄生体には恐ろしい秘密があった。表題作ほか、宇宙を舞台にくり広げられる壮大なドラマ全3編を収録。

『君の話』 三秋 穂//著 早川書房 F-ミ



近未来の世界では、治療として記憶を操作できる。人間不信の大学生千尋は、過去のトラウマを消すための薬を買い求めるが、彼に処方されたのは、記憶を消す薬ではなく、幸せな記憶を植え付ける薬だった。彼は自分好みにプログラムされた幼馴染みの「灯花」との思い出に浸ってしまう。偽<sup>にせ</sup>の記憶だと理解していても彼女に恋をしていた。ある日、アパートの隣室にまるで灯花が成長したかのような女性が引っ越してくる。彼女は千尋に、幼馴染みの灯花だと名乗る。彼女の正体とは…。

『火星のライオン』 ジェニファー L ホルム//作 もりうち すみこ//訳

ほるぶ出版 93-ホ



2091年、火星。ベルたち5人の身寄りのない子どもは、赤ん坊のときに地球から移住してきた。それ以来6人の大人とネコとともに、火星で平穏に暮らしていた。ところがある日、大人が全員謎のウィルスに感染し、子どもだけで生活しなければならなくなる。大人たちの病気は日に日に悪化し、薬も底を尽きる。ベルは、なんとか<sup>だかいまく</sup>打開策を見つけようとするが…。

『未来の乗り物図鑑』 交通系 YouTuber スーツ//著 KADOKAWA 536



2013年アメリカの実業家でエンジニアのイーロン・マスク氏が新交通システム「真空ハイパーループ」の構想について発表した。チューブの中をカプセル状の車両が移動し、そのスピードはなんと時速1200km！東京から姫路まで30分で移動できる速さ。2022年から本格的な可動テストが行われているという。他にも空飛ぶ自動車やバイク。水素エンジンの飛行機。ドローン・タクシー。わくわくする未来はすぐそこまで来ている。